



危機対応

帝京大学小学校校長 石井 卓之

4月16日の夕刻に、緊急事態宣言の地域を全都道府県に広げる方針というニュースがテレビから流れてきました。出口の見えないこの状況下ではありますが、子どもたちに対して何ができるのかを考えて、学校としても努力をしております。

メディアでは、不要不急の外出を避け感染防止に努める中で、抵抗力を高めることの大切さが繰り返し語られています。睡眠、食事、運動は健康の三要素です。特に、ストレスを発散することができる運動はこの時期、大切だと考えています。

今、東京だけではなく各地の学校が休校となっています。体育を専門とする教員は、家庭で手軽に楽しみながらできる運動を考え、SNSにアップし始めています。プロのスポーツ選手たちからも、自宅で手軽にできるトレーニングが紹介されています。お子様と一緒に体を動かすことで、普段に増して親子のコミュニケーションが深まるのではないのでしょうか。動画を視聴できるYouTubeは有効な手段ですが、保護者の管理下で行っていただければと思います。YouTubeキッズも選択肢の一つとなります。 <https://www.youtubekids.com/>

以下は、北海道の先生方からの紹介です。

○室内で子どもがレジ袋を使って、汗びっしょりになる方法（北海道の小学校の先生作）

<https://www.youtube.com/watch?v=b-RF548n3k4>

○鬼滅の刃のダンス（札幌市立中の島中学校のホームページにある公式YouTubeチャンネル）

<https://www16.sapporo-c.ed.jp/nakanoshima-j/>

本校では、教員に感染者が出た場合でも学校の機能が停止しないようにシフトを組んで出勤をしています。今できる教育活動は何か、学校再開後にはまず何をしていくのかなど検討を進め、実行に移していきます。

○今行っている内容

- ・週に1回、担任からの電話連絡
- ・週に1回、学校ホームページに学校だより・学年だよりの掲載
- ・必要に応じて、学習課題の提供
- ・電子書籍のお試し提供（e-library）：月曜日に学校から発送する郵便物に同封

○今後取り組めないか、検討を進めている内容（実施の可能性を探っている内容を含む）

- ・ウェブでの学年ホームルームの実施
- ・ウェブでの課題や教材の提供
- ・ウェブでの遠隔授業

今まで経験したことのない危機ですが、今後起こり得る危機への備えとなるように、全教職員がチーム帝京小として前向きに取り組んでいきます。今後の学校の対応によっては、ご家庭での情報端末機器やネット環境の整備が必要なことも考えられます。移行時の対応には、十分配慮をしておりますが、ご家庭の協力が不可欠となりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。